

図書プロジェクト

《概要》

探究する過程において、学習活動を行うときに使う資料の一つとして図書資料がある。図書プロジェクトでは、図書資料を使って、どのような情報活用能力を育成できるか、また効果的に育成するにはどのような図書資料をどのように活用すればいいか、一年かけて探ってきた。

実践を重ねる中で見えてきたのは、実践力の中でも「情報を収集する力」を育成するのに図書資料は相性がいいということである。低学年・中学年・高学年すべてにおいて、この力をねらった実践ができた。しかし、その多くは教師の選書によるもので、教室に持って行って行われ、児童自身が学校図書館で課題解決に必要な資料を探し出すところまでは至っていなかった。

そこで、後期は、学校図書館の機能を見直し、児童や授業をする教師が図書館資料を活用しやすい環境デザインを話し合い、自校の図書館環境を整え、図書館の機能や図書館資料を活用した実践を行った。まだ道半ばであるため、次年度も引き続き行うことで検証していきたい。（学校図書館法第二条では、「図書館資料」とは、図書だけでなく、インターネットや映像などの資料も含まれる。）

《活動内容》

1. 探究する過程において図書資料を活用し、情報活用能力を育成する単元設計

＜ワークショップ①＞（5/16）

2. 各自実践を行い、「一実践概要」にまとめる（前期）
3. 実践をもちより、授業デザイン・情報活用能力について意見交換＜ワークショップ②＞（7/11）
4. 夏季図書研修会で実践紹介（8/1）

南野川小学校 西田直美教諭、下小田中小学校 恩田遥教諭、大戸小学校 中川ひとみ教諭

5. 中間報告会（9/5）
6. 学校図書館の機能を見直し、後期に向けての取り組みを共有＜ワークショップ③＞（10/13）
7. 各自実践を行い、「一実践概要」か「図書館学習環境デザイン」にまとめる（後期）
8. 成果報告会（2/20）

＜発表関係＞ 県夏期研修大会にて実践発表（8/17）西生田小学校 佐瀬 洋子教諭

県小教研大会にて実践発表（2/6）金程小学校 今麻由子教諭

《プロジェクトの成果と課題》

今年度の実践では、図書資料活用により「情報を収集する力」「整理する力」「表現する力」が育成できることが分かった。その中でも、「情報を収集する力」は低中高全てにおいて育成することができた。その手立てとして、選書の工夫やゴールを見据えたミッションの提示、思考ツールや情報カードの活用、学校司書との連携など、単元全体の授業デザインの工夫が見られた。

一方、児童自らが学校図書館で必要な図書資料を探し出し、活用するには、図書館の機能を知ることや、それらを使えるスキルが必要である。次年度は、後期から取り組んでいる「学校図書館の環境デザインの構築」と、「学校図書館の機能を活用した実践」を並行して行い、より効果的に情報活用能力を育成していけるようにしたい。図書資料という初歩のメディアが置いてある学校図書館を使って、児童が学び方を身につけることで、より探究の過程において情報活用ができるようにしていきたい。

《授業実践報告》 ☆☆こちらの実践シートは情報研のHPからPDFで見られます！☆☆

■図書資料を活用した実践

学年	教科・単元名	実践者	所属校	実践内容	授業デザイン
1	国語「くちばし」	西田直美	南野川小	問題、答え、説明を見つけて【あつめて】色分けして【なかまわけ】する取り組み	同じシリーズに限定して選書
2	生活「めざせ野菜さい作り名人」	福山里加	西有馬小	育てている野菜について、知りたい情報を【あつめる】取り組み	思考ツールで課題決定
4	理科「夏の夜空」	佐瀬洋子	西生田小	星に関して初めて知ったことを【あつめて】興味関心を高める取り組み	読書記録カード 公共図書館本利用
5	総合「八ヶ岳ってどんなところ？」	中川ひとみ	大戸小	自然教室の課題別学習で必要な情報を、図書館の本棚から【あつめる】取り組み	分類番号 図鑑の索引
5	国語「つながる、広がる、わたしたちの読書」	中山泉	渡田小	ふれあい学年におすすめの本を紹介するために【あらわす】取り組み	ポップ 異学年交流
5	国語「夏の夜」「日常を十七音で」	恩田遥	下小田中 小	自分のお気に入りの俳句や様々な季語を【あつめる】取り組み	図書とパソコンの併用
5	理科「ヒトのたんじょう」	宮崎誠	富士見台 小	赤ちゃんが、おなかの中でどう育っているか、情報を【あつめる】取り組み	図書館でタブレット活用
6	社会科「わたしたちの生活と政治」	今麻由子	金程小	政治に関する図書資料から必要な情報を【あつめて】読み取る取り組み	情報カード 学校司書

■学校図書館の環境デザイン

実践者	所属校	改善内容	図書館の機能
中山泉	渡田小	新聞に親しめる機会を作るために、掲示板を作り、新聞の内容をキャッチコピーという形で【つたえる】取り組み	新聞 掲示板
佐瀬洋子	西生田小	OPAC 検索機能を活用して、児童自らが図書館で本を【あつめる】(探す) ことができるようにする取り組み	OPAC 検索機能 使い方カード

■学校図書館の機能を活用した実践

年	教科・単元名	実践者	所属校	実践内容	図書館の機能
4	国語「ごんぎつね」	福山里加	西有馬小	新美南吉に関する映像を視聴し、興味のある作品を図書館で【あつめる】取り組み	映像資料 案内図、別置
4	国語「ごんぎつね」	佐瀬洋子	西生田小	OPAC を活用して新美南吉の作品を図書館で【あつめ】、ペア読書で読み味わう取り組み	OPAC 検索機能 請求記号・別置
5	図工「物語の世界を広げて」	中川ひとみ	大戸小	読書感想画のイメージをもたせるために、図書館の中から参考図書を【あつめる】取り組み	感想画カレンダー
5	図工「物語の絵を描こう」	宮崎誠	富士見台 小	物語の場面を描くために、本との出会いの場を、味見読書で【あつめる】取り組み	味見読書 案内図
6	読書タイム「ミニミニブックトーク」	今麻由子	金程小	紹介したい本を書架から見つけ【あつめて】読む取り組み	図書館案内、請求記号、情報カード